

(別添4)

第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント

(令和 4年 3月 28日記載)

第三者評価の受審にあたり、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け、当初の計画より約1年遅れでの実施となりました。初めて経験する職員がほとんどという状況下、実施途中での施設長交代もあり、評価機関の方には大変ご苦勞を頂きました。

職員による自己評価につきましては、その評価項目の多さに驚き、その後の利用者調査、訪問調査と続くと聞いて『手間と時間のかかる評価』という印象でしたが、施設における業務改善のきっかけになれば…との思いで取り組みました。

評価の実施につきましては、新型コロナウイルス感染症の流行時期と重なりスケジュールに遅れが生じましたが、施設のコロナ対策にご協力いただき、無事に調査を終了することができました。感染対策への理解とスケジュール調整にご協力いただいた評価機関の皆さまには感謝いたします。

利用者調査では、コロナ禍で職員以外と話す機会が久しぶりというご利用者もあり、とても良い刺激になったと思います。また、自分の思いを聞いてもらえるということが、とても大事だと改めて感じました。

評価結果につきましては、施設としてさらに伸ばしていくところと改善すべきところが明らかになったと思います。改善が必要な点につきましては、法人を含めて検討し、組織全体で改善を図ってまいります。次回受審の際には更に良い評価がいただけるよう改善に取り組んでまいります。

- * 公表の同意をした場合は、評価機関に、電磁的に作成し電磁的に保存した媒体及び当該媒体を出力した書面（署名及び押印をすること。）を提出すること。
- * 評価機関は、福祉サービス事業者から提出のあった当該書面を県へ提出すること。

地域密着型介護老人福祉施設
ゆめの里朝日
施設長 百瀬 清志 押印